

本県経済・産業の現状等(追加資料)

1 人口減少・少子高齢化

①10年後(平成34年)の年齢区分別人口(年少人口、生産年齢人口、老年人口)

○平成34年までに、生産年齢人口は全国で約900万人、香川で約10万人程度の減少が見込まれており、老年人口の割合は高くなってきている。

○人口

【平成23年(2011年)】

区分	総人口	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		人口(千人)	割合%	人口(千人)	割合%	人口(千人)	割合%
全国	127,799	16,705	13.1	81,342	63.6	29,752	23.3
香川	992	131	13.3	602	60.7	258	26.0

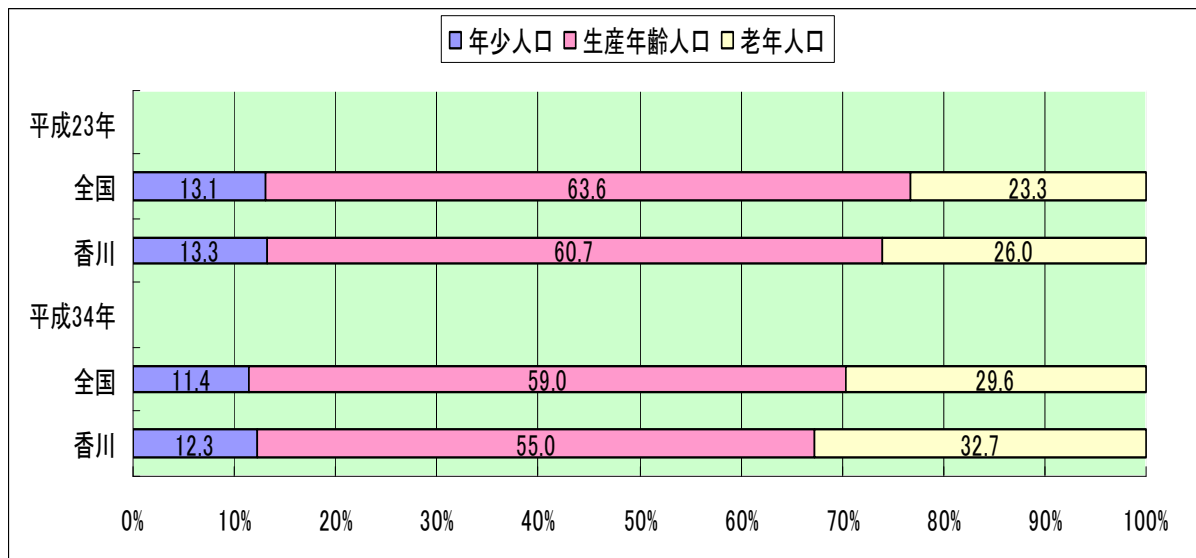
【平成34年(2022年)】

区分	総人口	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		人口(千人)	割合%	人口(千人)	割合%	人口(千人)	割合%
全国	122,813	14,049	11.4	72,408	59.0	36,356	29.6
香川	917	113	12.3	504	55.0	300	32.7

※四捨五入のため3区分人口の合計が総人口とならない場合がある。

○割合

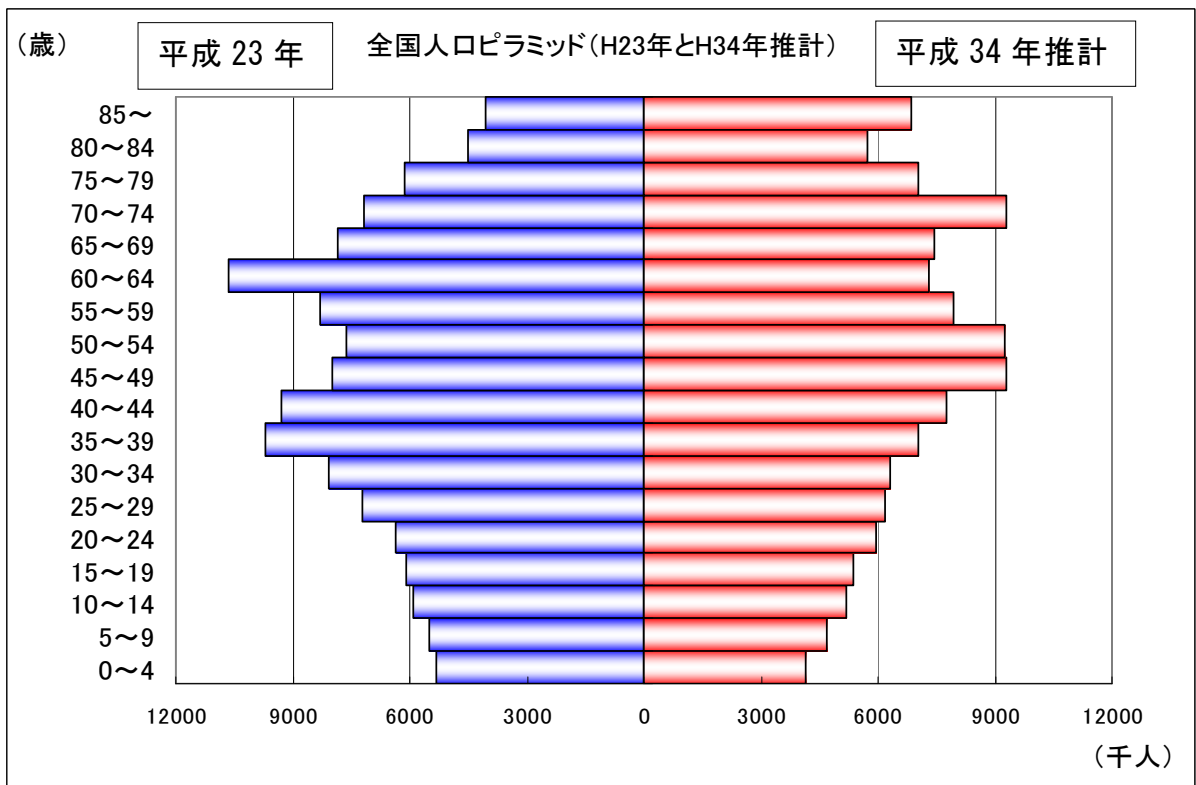
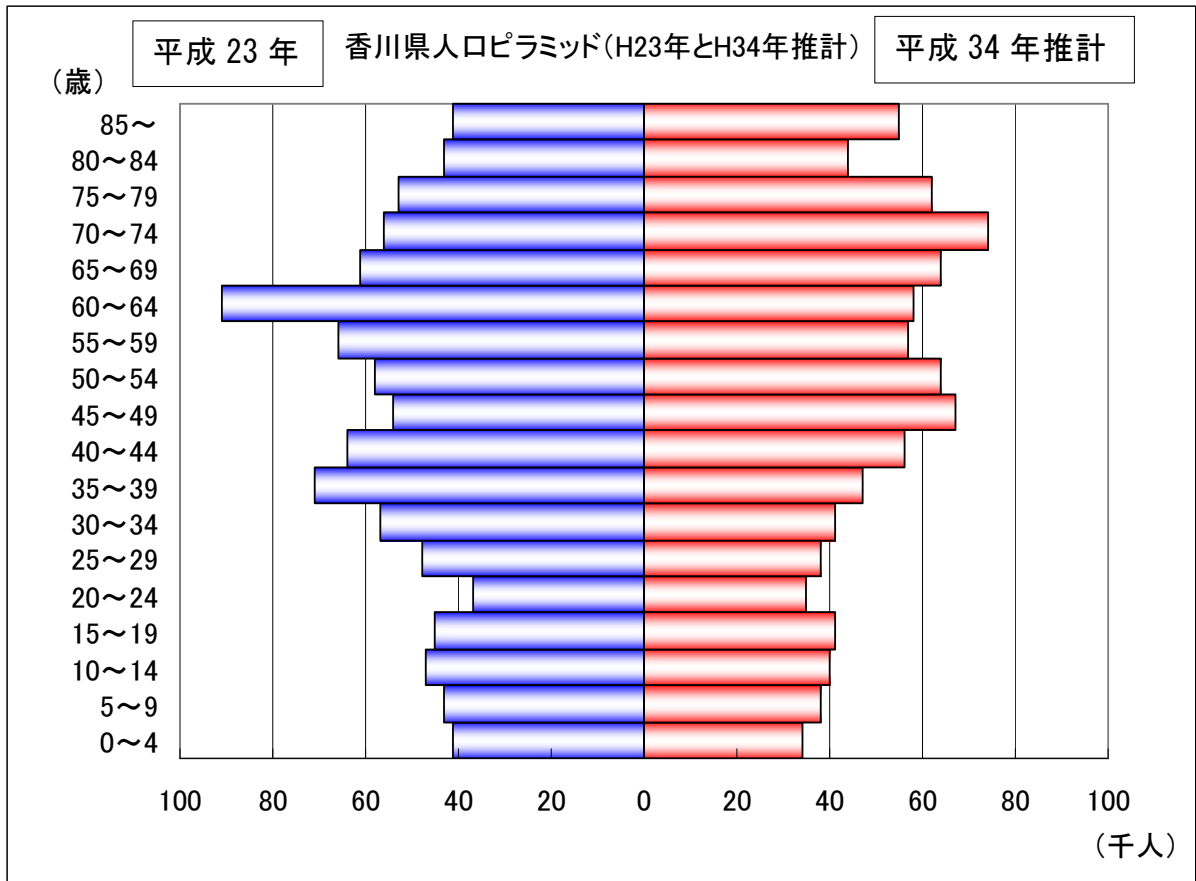
(%)



「人口推計(平成23年10月1日現在)(総務省統計局)」

「日本の将来推計人口 平成24年1月推計(国立社会保障・人口問題研究所)」

※平成34年の香川県の人口は、平成22年国勢調査人口を基に統計調査課が独自に推計した値である。

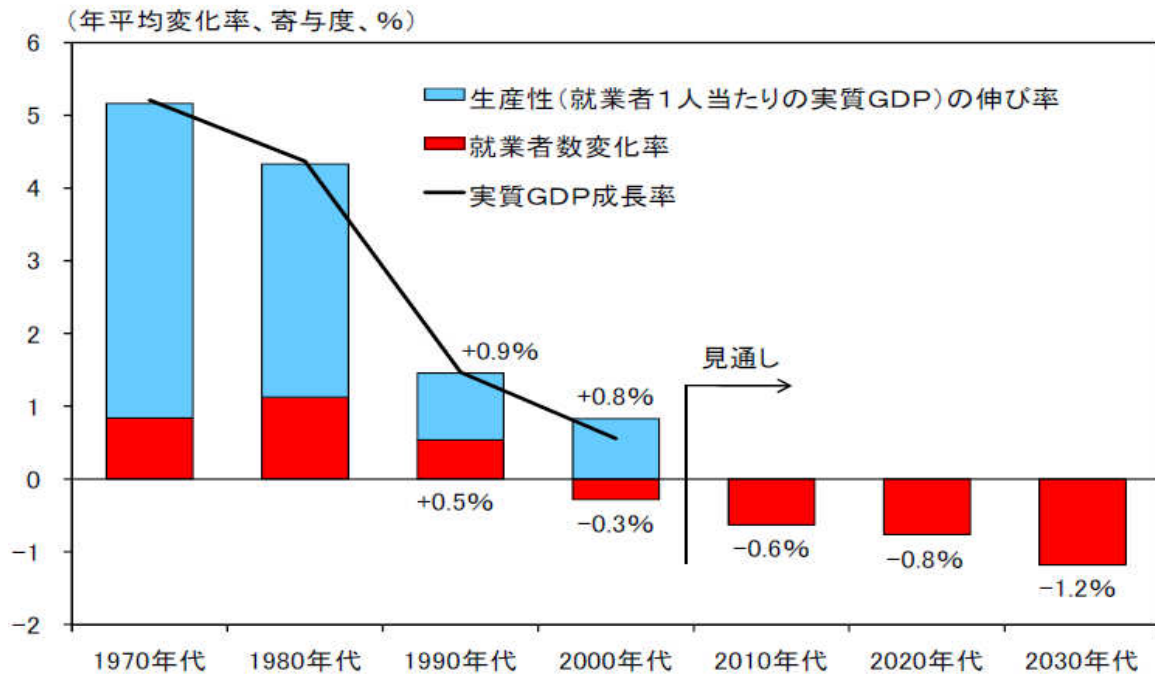


「人口推計 (平成 23 年 10 月 1 日現在) (総務省統計局)」

「日本の将来推計人口 平成 24 年 1 月推計 (国立社会保障・人口問題研究所)」

※平成 34 年の香川県の人口は、平成 22 年国勢調査人口を基に統計調査課が独自に推計した値である。

②実質GDP成長率、生産性の伸び率、就業者数変化率の関係

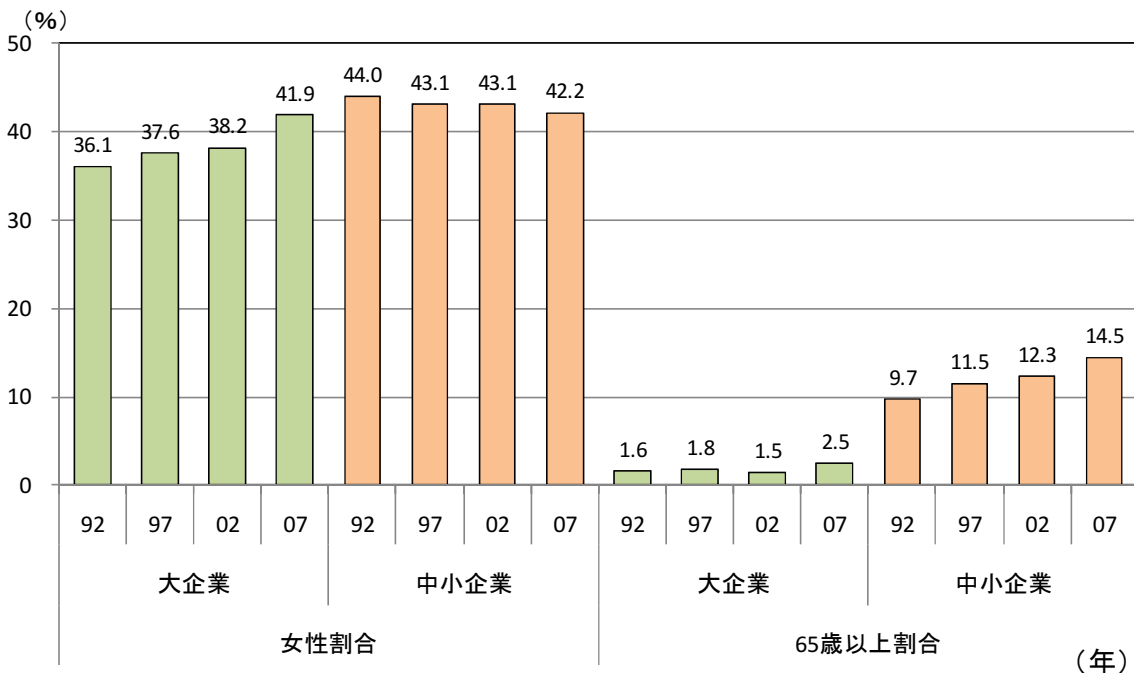


(注) 2012年以降の就業者数変化率は、将来人口の推計値(出生中位、死亡中位のケース)と労働力率の見通し(各年齢層・各性別の労働力率が2010年の値で横ばいで推移と仮定したもの)から試算した労働力人口の年平均変化率。

(資料) 内閣府、総務省、国立社会保障・人口問題研究所

(資料提供) 日本銀行高松支店

③就業者に占める女性と高齢者の割合



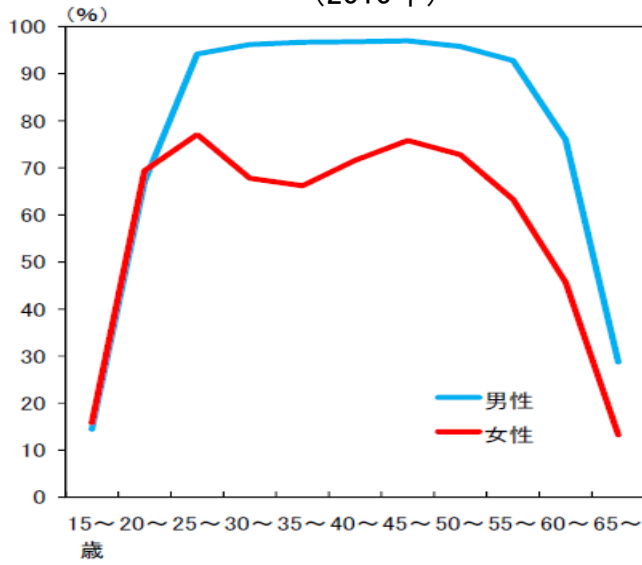
(注) 従業者数299人以下(卸売業、サービス業は99人以下、小売業、飲食店は49人以下)の企業を中小企業、中小企業以外を大企業とする。

(資料) 中小企業庁「中小企業白書」、総務省「就業構造基本調査」

(資料提供) 日本銀行高松支店

④働いている人の割合（労働力率）

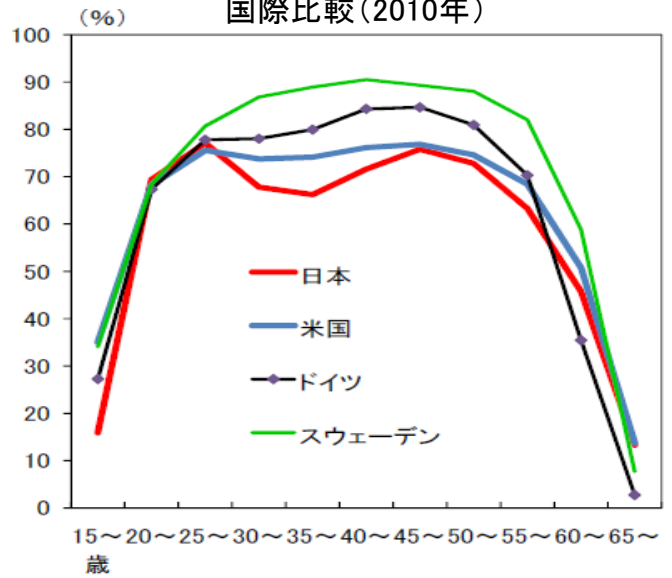
男女別にみた労働力率カーブ
(2010年)



(資料) 総務省、OECD

(資料提供) 日本銀行高松支店

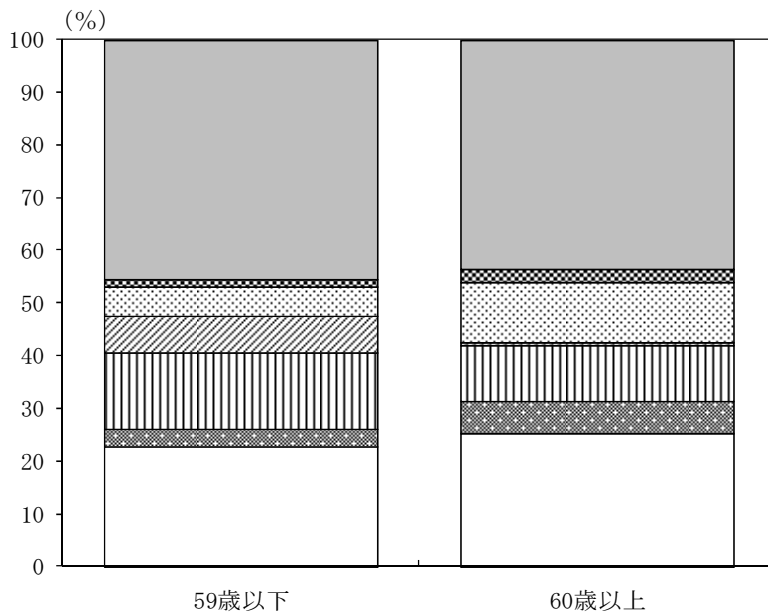
女性の労働力率カーブの
国際比較(2010年)



⑤高齢者消費の特徴

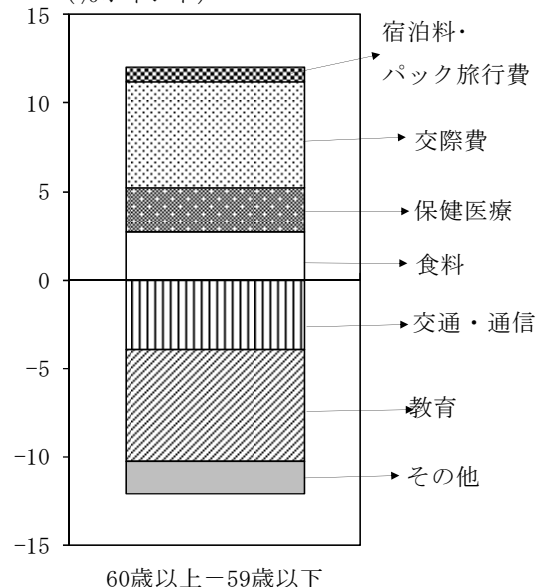
<年齢階層別にみた消費支出（2011年平均、二人以上の世帯）>

各世帯の消費ウェイト



□食料 □保健医療 □交通・通信 □教育 □交際費 □宿泊料・パック旅行費 □その他

高齢者世帯と
それ以外の世帯の差
(%ポイント)



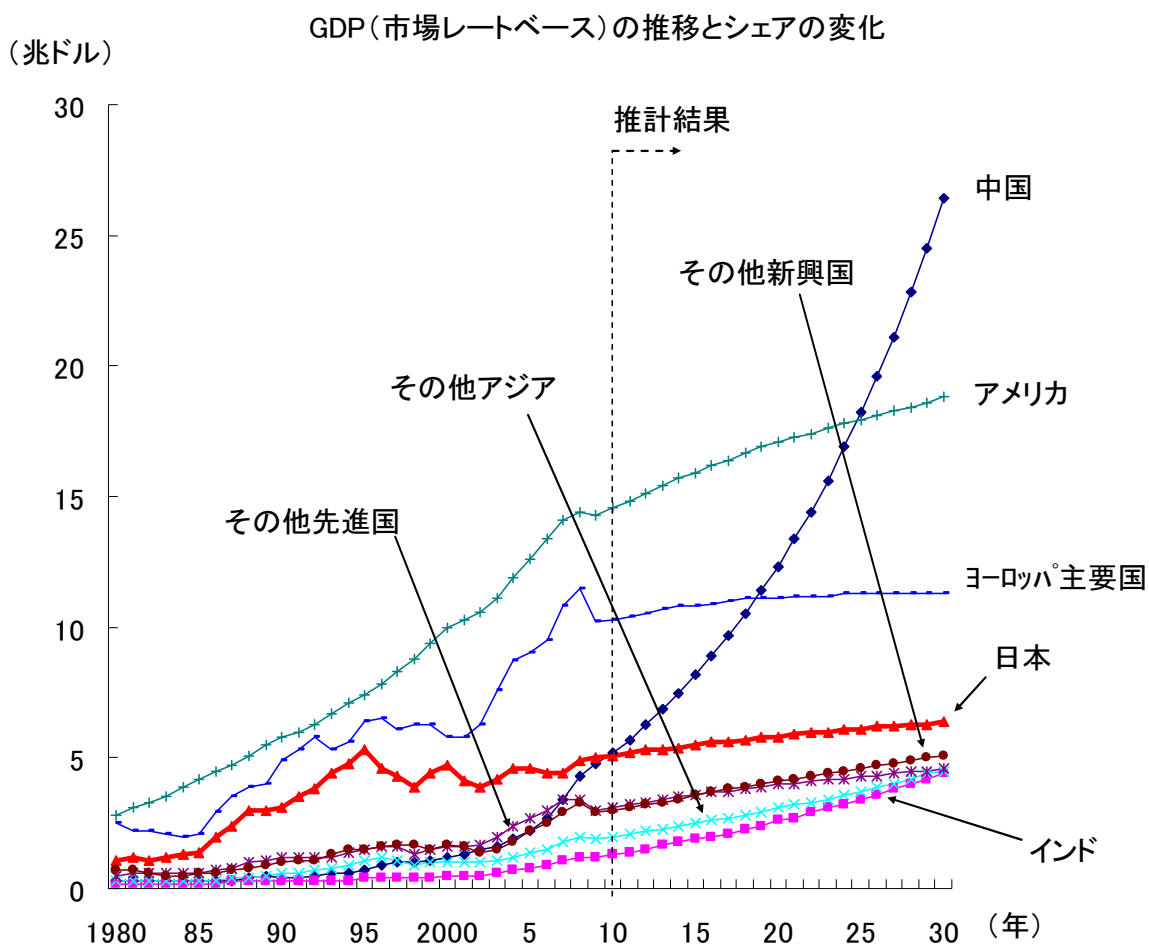
(資料提供) 日本銀行高松支店

2 海外の活力

①経済成長率の推移

○ 中長期的には日本経済の地位は低下する。

2025年（平成37年）頃には中国はGDPでアメリカを抜き、また、インドもドイツを追い抜き日本に迫るものと予測されている。



- (備考) 1. 2009年までは国連のデータで、以降は内閣府が独自に推計したもの。
 2. グラフに示されている国・地域は、09年時点で世界全体の97.0%のシェアを占める。
 3. 「ヨーロッパ主要国」は、ドイツ、フランス、英国、イタリア、「その他アジア」は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、シンガポール、香港及び台湾、「その他先進国」は、カナダ、オーストラリア、韓国、「その他新興国」は、中南米、南アメリカ。

< GDPシェア >

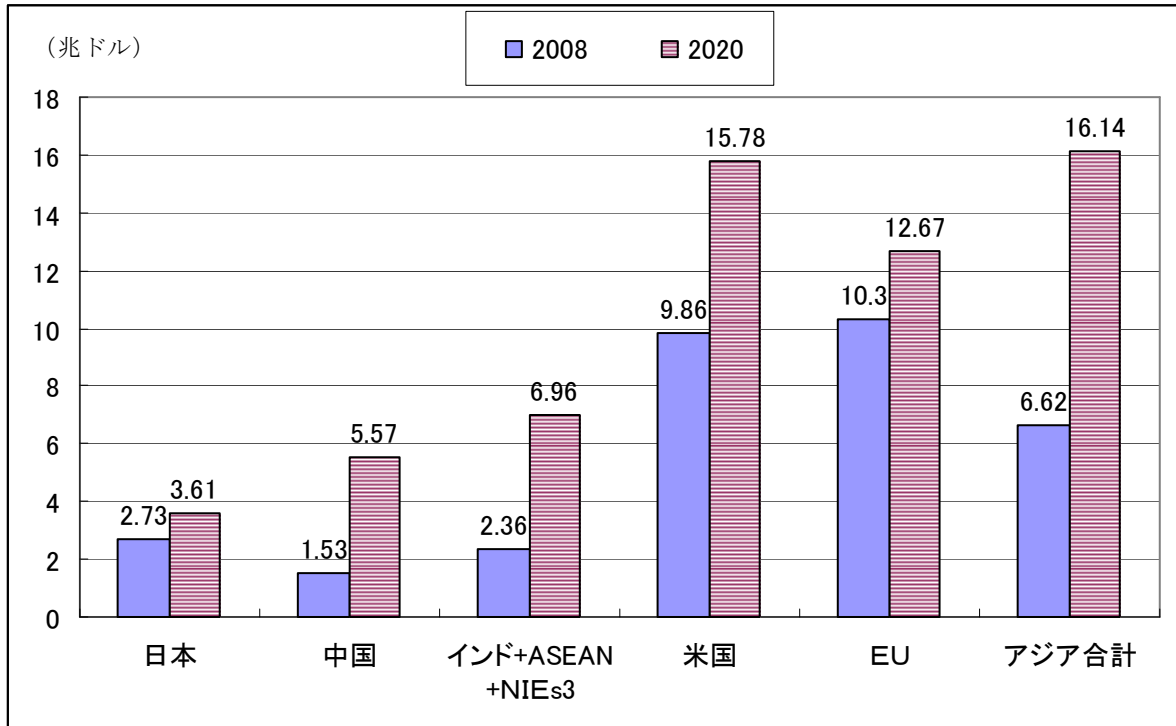
日本 1990年：15% → 2010年：9% → 2030年：6%
 中国 1990年：2% → 2010年：9% → 2030年：25%

「世界経済の潮流 2011（内閣府）から抜粋」

②消費市場の推移

- 2020年（平成32年）までに中国が日本を上回りアジア最大の消費市場となり、また、アジア全体では、日本の約4.5倍へ成長し、欧州を抜き米国に並ぶものと予測されている。

アジア各国・地域の個人消費額の実績と予測



備考：名目ベース、ドル換算。ASEAN は、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアの10カ国を指す。NIEs3とは、韓国、台湾、香港のこと。

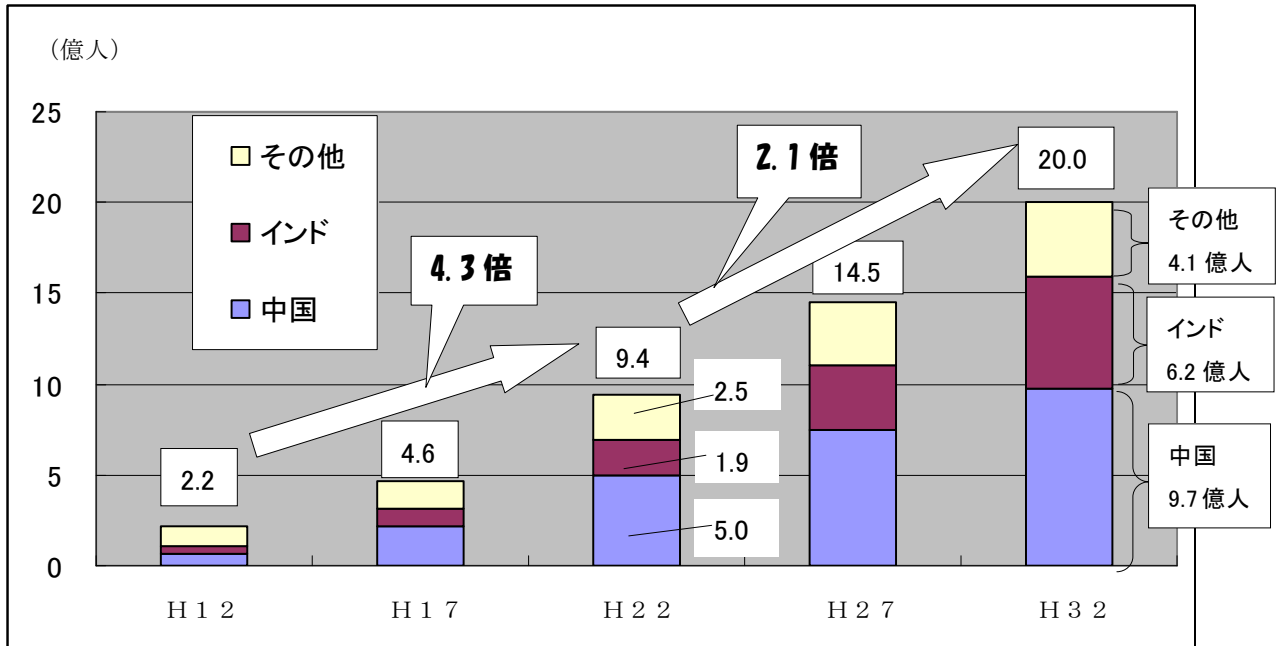
資料：Euromonitor International2010から作成

「平成22年版通商白書（経済産業省）」

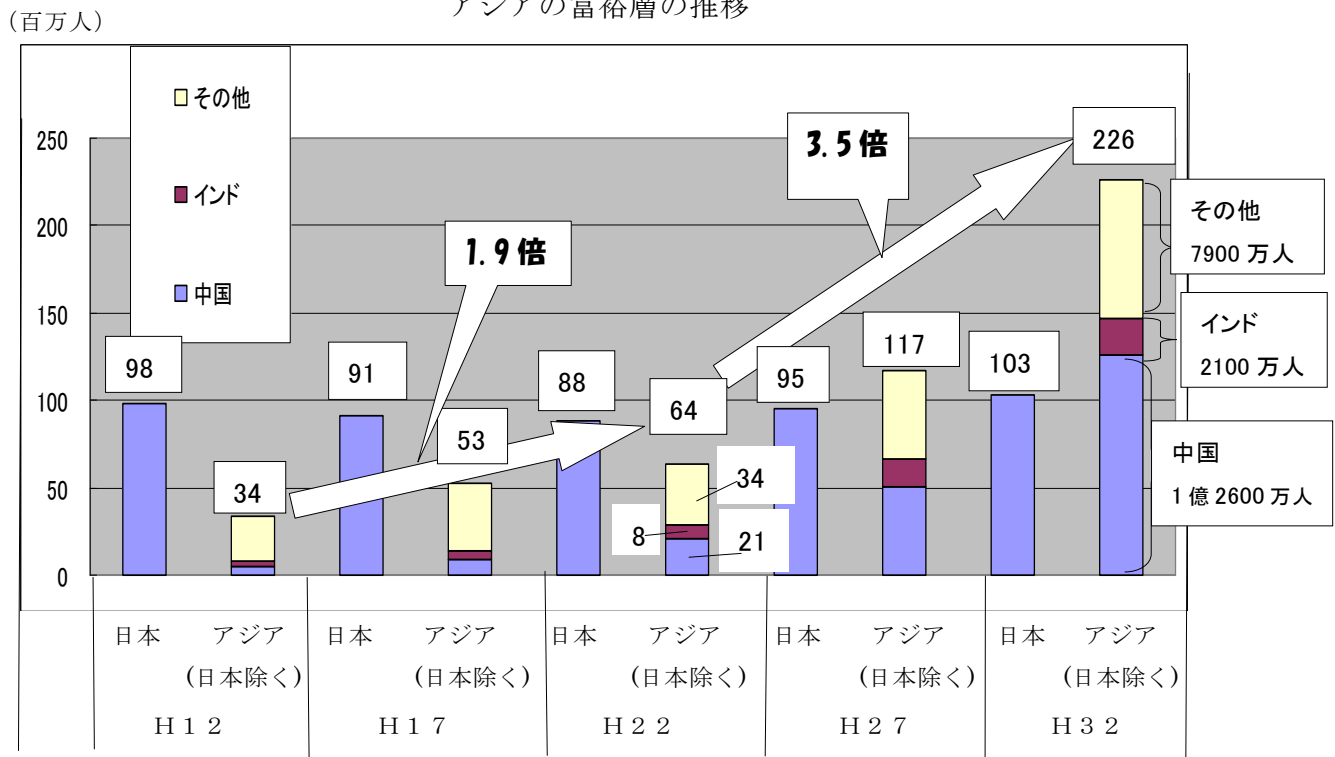
③アジアの所得階層別人口の推移

- アジアの中間層は、今後10年で約2倍超に増加し、2020年（平成32年）には20億人に達し、アジアの富裕層は間もなく日本を超える規模になる見込みである。

アジアの中間層の推移



アジアの富裕層の推移



備考：世帯可処分所得の家計人口。アジアとは中国・香港・台湾・韓国・インド・インドネシア・タイ・ベトナム・シンガポール・マレーシア・フィリピンのこと。

2010年、2015年、2020年はEuromonitor推計値。

アジアの中間層とは、世帯年間可処分所得が5000ドル以上35000ドル未満の所得層。

アジアの富裕層とは、世帯年間可処分所得が35000ドル以上の所得層。

資料：Euromonitor International2010から作成 「平成22年版通商白書（経済産業省）」

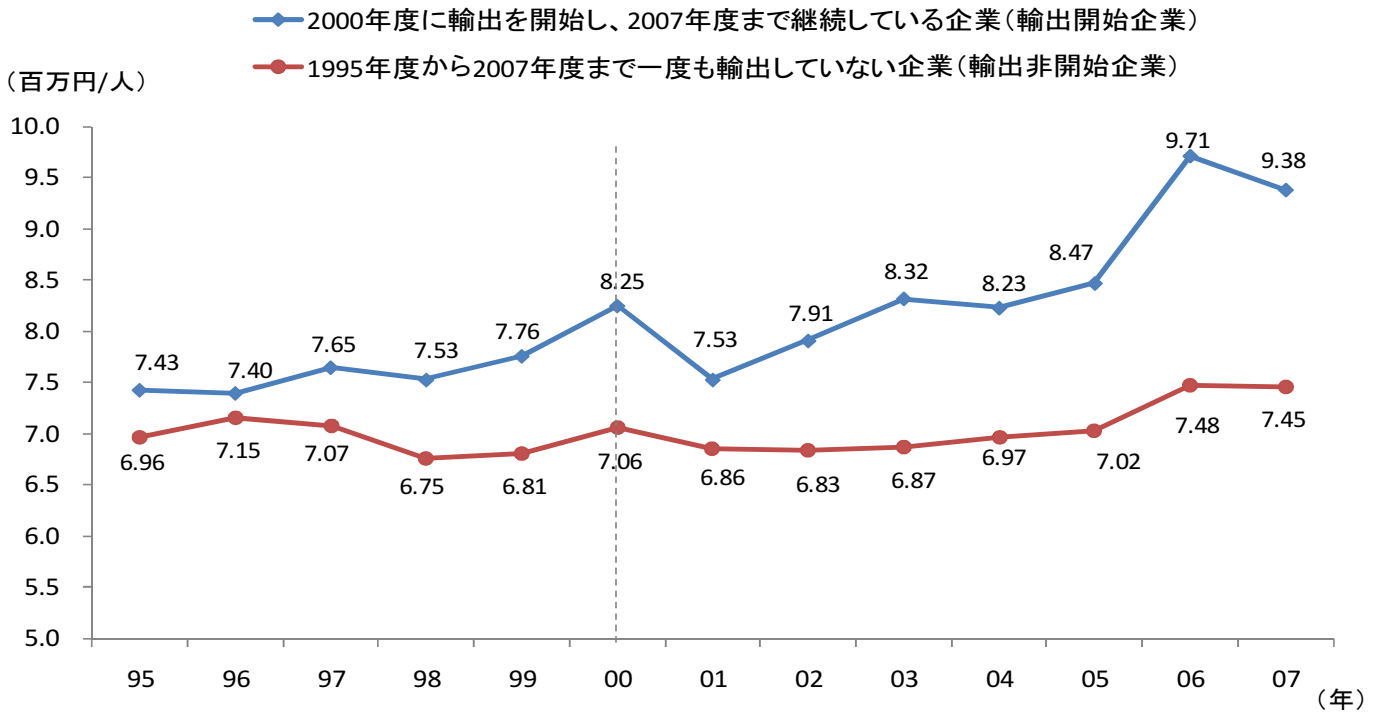
④主なアジアの国々の人口・年齢構成の推移：1980～2030年（昭和55年～平成42年）

○ アジアの国々の人口は、総じて増加傾向にあるが、中国では高齢化層が急速に増加している。一方、インドでは2030年（平成42年）には生産年齢人口が10億人に達する見込みである。

年次	総人口 (千人)	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		人口(千人)	構成比率(%)	人口(千人)	構成比率(%)	人口(千人)	構成比率(%)
中国							
1980	983,171	349,026	35.5	583,020	59.3	51,125	5.2
1990	1,145,195	320,655	28.0	756,974	66.1	67,566	5.9
2000	1,269,117	323,625	25.5	856,654	67.5	88,838	7.0
2010	1,341,335	261,560	19.5	969,785	72.3	109,990	8.2
2020	1,387,792	231,761	16.7	989,496	71.3	166,535	12.0
2030	1,393,076	203,389	14.6	959,829	68.9	229,858	16.5
インド							
1980	700,059	277,223	39.6	397,634	56.8	25,202	3.6
1990	873,785	332,038	38.0	508,543	58.2	33,204	3.8
2000	1,053,898	365,702	34.7	643,932	61.1	44,264	4.2
2010	1,224,614	374,732	30.6	789,876	64.5	60,006	4.9
2020	1,386,909	375,852	27.1	923,682	66.6	87,375	6.3
2030	1,523,482	362,589	23.8	1,034,444	67.9	126,449	8.3
インドネシア							
1980	150,820	61,987	41.1	83,403	55.3	5,430	3.6
1990	184,346	67,286	36.5	110,055	59.7	7,005	3.8
2000	213,395	65,512	30.7	138,067	64.7	9,816	4.6
2010	239,871	64,765	27.0	161,673	67.4	13,433	5.6
2020	262,569	61,704	23.5	182,485	69.5	18,380	7.0
2030	279,659	56,212	20.1	194,083	69.4	29,364	10.5
ベトナム							
1980	54,023	21,987	40.7	29,389	54.4	2,647	4.9
1990	67,102	25,499	38.0	38,248	57.0	3,355	5.0
2000	78,758	25,281	32.1	49,066	62.3	4,411	5.6
2010	87,848	20,732	23.6	61,845	70.4	5,271	6.0
2020	96,355	20,620	21.4	68,027	70.6	7,708	8.0
2030	101,483	17,557	17.3	70,936	69.9	12,990	12.8
タイ							
1980	47,483	18,708	39.4	27,065	57.0	1,710	3.6
1990	57,072	17,179	30.1	37,268	65.3	2,625	4.6
2000	63,155	15,157	24.0	43,640	69.1	4,358	6.9
2010	69,122	14,170	20.5	48,800	70.6	6,152	8.9
2020	72,091	12,328	17.1	50,896	70.6	8,867	12.3
2030	73,321	11,072	15.1	49,345	67.3	12,904	17.6
韓国							
1980	37,460	12,699	33.9	23,300	62.2	1,461	3.9
1990	42,980	11,003	25.6	29,828	69.4	2,149	5.0
2000	45,988	9,658	21.0	32,973	71.7	3,357	7.3
2010	48,184	7,902	16.4	34,933	72.5	5,349	11.1
2020	49,810	7,173	14.4	34,817	69.9	7,820	15.7
2030	50,335	7,097	14.1	31,510	62.6	11,728	23.3

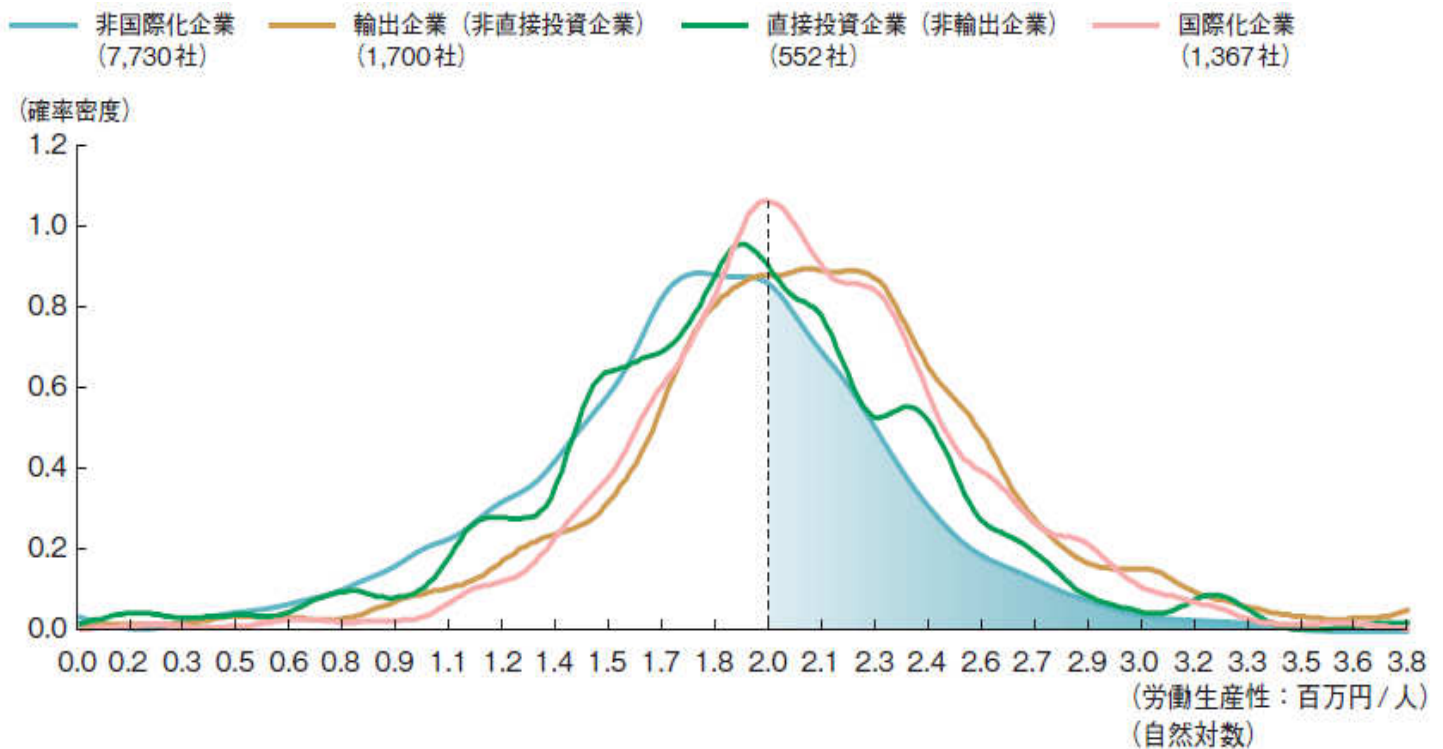
「世界の統計2012（総務省）から抜粋」（出所）社会実情データ図録

⑤輸出の開始企業と非開始企業の労働生産性



(資料) 中小企業庁 「中小企業白書」、経済産業省 「企業活動基本調査」
(資料提供) 日本銀行高松支店

⑥中小企業製造業における国際化企業・非国際化企業の労働生産性の分布(2008年)



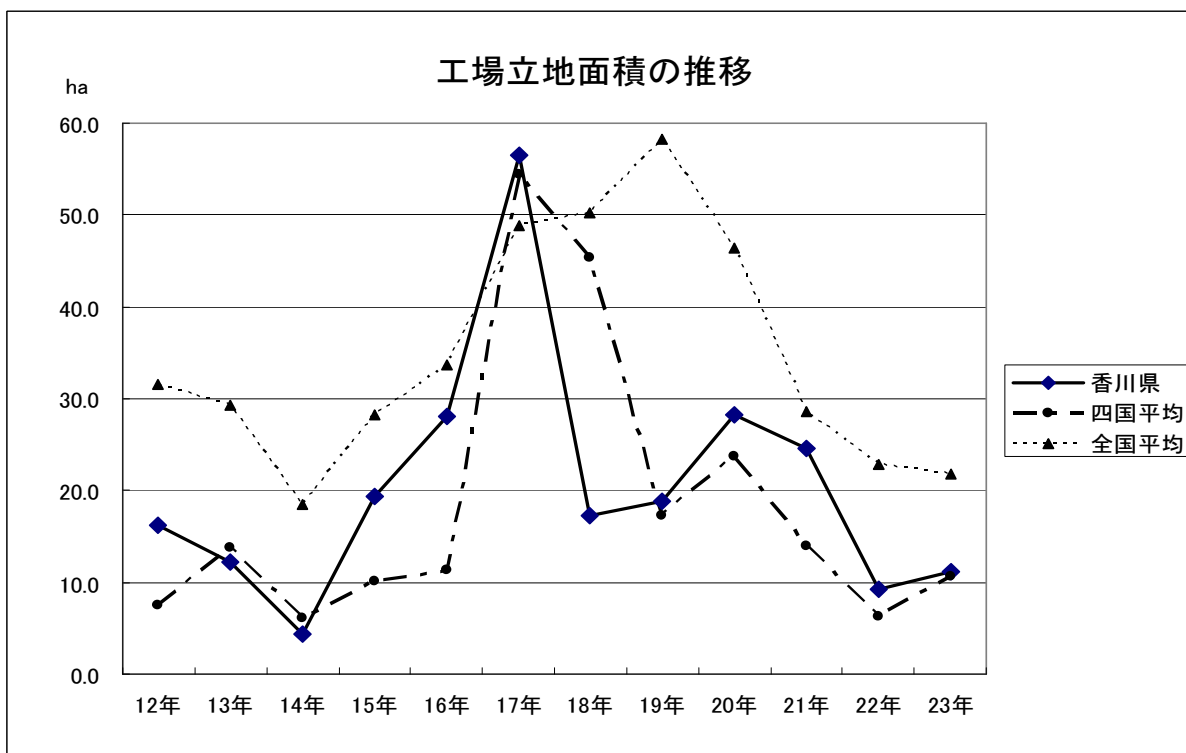
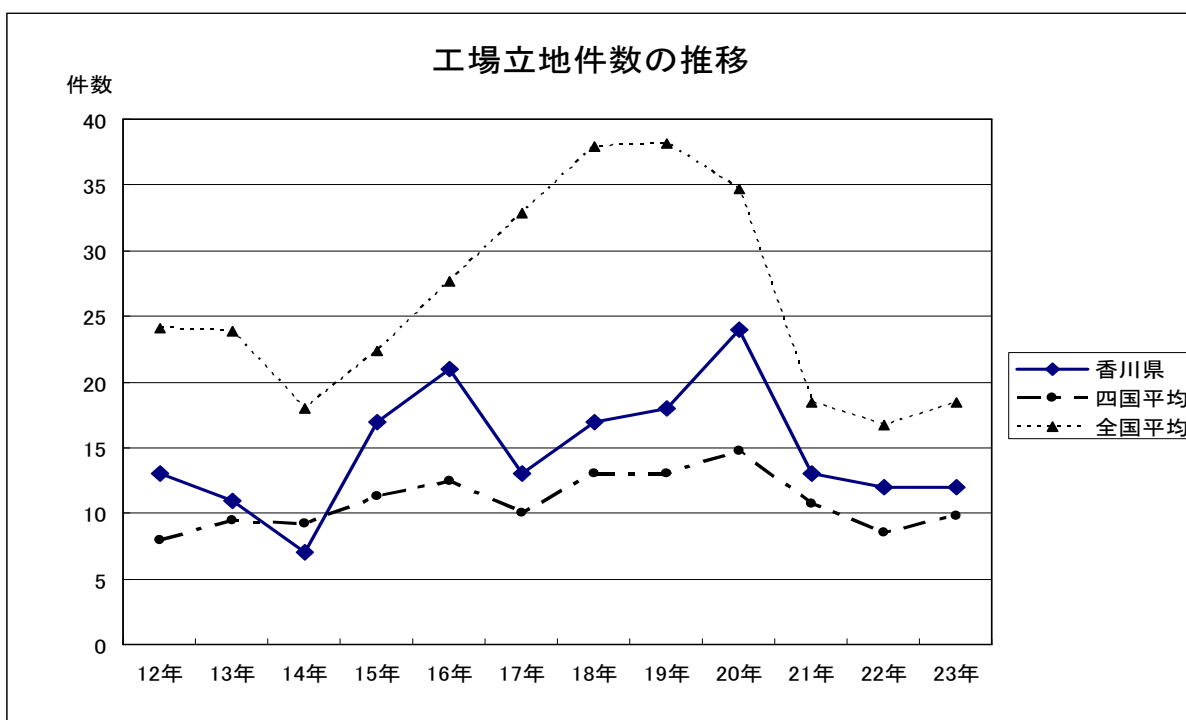
(注) 自然対数が1増加することは、実数が2.7倍になることを意味する。
(資料) 中小企業庁 「中小企業白書」、経済産業省 「企業活動基本調査」
(資料提供) 日本銀行高松支店

3 本県の特長

＜工業立地の状況＞

①工場立地動向

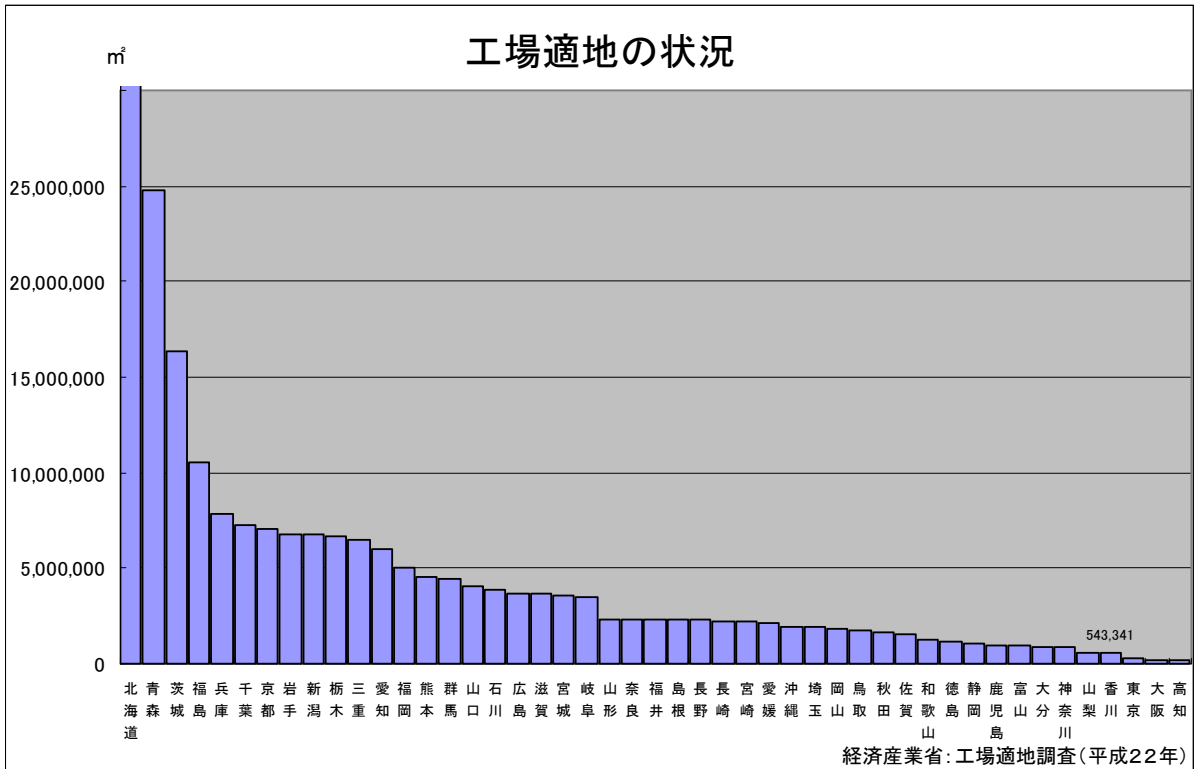
- 本県の工場立地件数（1,000 m²以上の工場等用地を取得した件数）は、リーマンショック後の平成 21 年に前年のほぼ半数に落ち込んで以降、横ばい状態にある。同立地面積については、平成 22 年に急激な落ち込みをみせたが、翌年にはやや増加している。



「工場立地動向調査（経済産業省）」

②工場適地の状況

- 本県の工場適地は54万3千㎡余であり、全国では4番目に少ない状況にある。



※北海道の工場適地面積は、113,730,823 ㎡。

香川県の工場適地の内訳

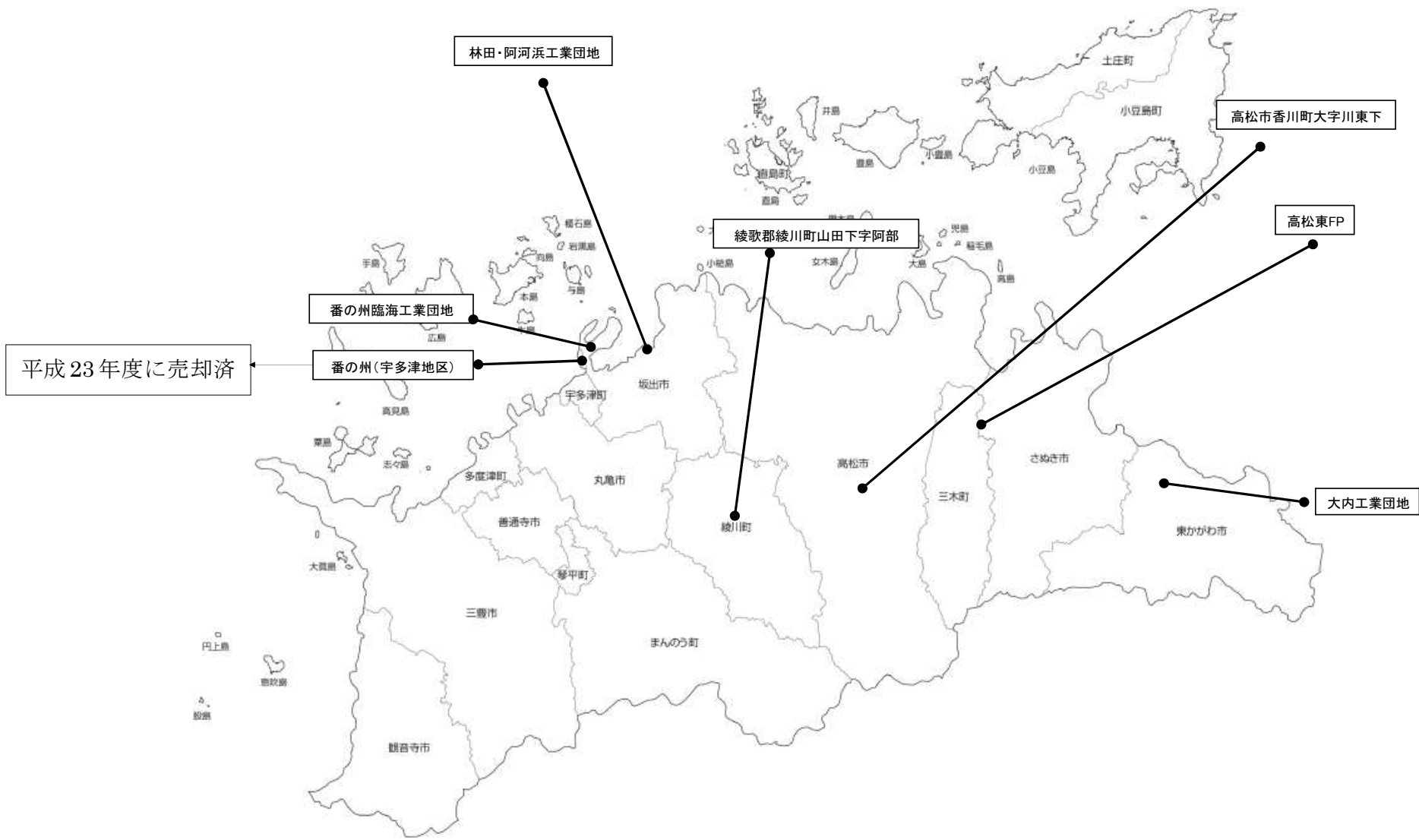
市町名	適地名	適地所在地	面積 (㎡)
坂出市	番の州	坂出市番の州町	395,000
坂出市	林田・阿河浜	坂出市林田町番屋前	36,846
さぬき市	高松東ファクトリーパーク	さぬき市昭和	31,800
綾歌郡綾川町	阿部	綾歌郡綾川町山田下字阿部	31,450
高松市	川東下	高松市香川町大字川東下字利兼外	9,935
東かがわ市	大内	東かがわ市大内	5,188
綾歌郡宇多津町	番の州 (宇多津地区) ※	綾歌郡宇多津町字吉田	33,122
合 計			543,341

※経済産業省の平成22年工場適地調査の香川県の工場適地の内訳。ただし、番の州 (宇多津地区) については、平成23年度に売却済。

◎平成24年8月末で、本県には510,219㎡の工場適地がある。

「香川県企業立地推進課」

□工場適地（H22）



<インフラの整備状況>

① 1時間圏人口

- 高松市内の中心から、高速道路や一般道及び船舶を利用して1時間以内に到達することができる圏内の市町村の人口合計を推計したところ、松山市や岡山市内から出発した場合よりも1時間圏人口は高く、交通アクセス面で優れている。

高松市の1時間圏人口

県庁所在地	1時間圏人口（人）
高松市	2,584,736
松山市	1,118,045
岡山市	2,551,283

「1時間圏人口（香川県政策課）」

②四国の拠点としての立地条件

○ 四国3県の陸路、空路、海路の比較では、便数や所要時間等を勘案した総合バランスにおいて、香川は他県に比べて優れた拠点性を有している。

	香川	徳島	愛媛	高知
陸路	<p><県外方面> 「東京 9時間」 「名古屋市 5時間10分」 岡山市 約1時間20分 広島市 約3時間10分 神戸市 (高速バス)約2時間45分 (普通車)約2時間20分 大阪市 (高速バス)約3時間15分 (普通車)約2時間50分 「吹田市 3時間25分」 京都市内 (高速バス)3時間40分 (普通車)3時間30分</p> <p><四国内> 徳島市 約1時間20分 松山市 約2時間10分 高知市 約1時間50分</p>	<p><県外方面> 「東京 8時間45分」 「名古屋市 4時間30分」 「岡山市 2時間20分」 「広島市 3時間45分」 神戸市 (高速バス)1時間50分 (普通車)1時間30分 大阪市 (高速バス)2時間20分 (普通車)2時間</p> <p>京都市内 (高速バス)2時間50分 (普通車)2時間30分</p> <p><四国内> 高松市 約1時間20分 松山市 約2時間40分 高知市 約2時間20分</p>	<p><県外方面> 「東京 11時間」 「名古屋市 6時間50分」 岡山市 2時間10分 広島市 3時間00分 神戸市 3時間40分 大阪市 4時間20分</p> <p><四国内> 高松市 2時間10分 徳島市 2時間40分 高知市 1時間50分</p>	<p><県外方面> 東京 10時間10分 名古屋市 6時間30分 岡山市 2時間00分 広島市 3時間30分 吹田市 4時間00分</p> <p><四国内> 徳島市 2時間20分 高松市 1時間50分 松山市 1時間50分</p>

空路	<国内線> 高松～東京 約1時間15分 (毎日往復12便) 高松～沖縄 約1時間55分 (毎日往復1便) <国際線> 高松～上海 約1時間55分 (週3日往復1便) 高松～ソウル 約1時間45分 (週3日往復1便)	<国内線> 徳島～東京 約1時間10分 (毎日往復10便) 徳島～福岡 約1時間15分(毎日往復2便)	<国内線> 松山～東京 1時間20分 (毎日往復13便) 松山～大阪(伊丹) 50分 (毎日往復11便) 松山～名古屋(中部国際) 1時間5分(毎日往復3便) 松山～沖縄 1時間50分 (毎日往復1便) 松山～福岡 45分 (毎日往復7便) 松山～鹿児島 1時間 (毎日往復2便) <国際線> 松山～上海 1時間40分 (週3日往復1便) 松山～ソウル 1時間30分 (週3日往復1便)	<国内線> 高知～東京 1時間25分 (毎日往復9便) 高知～大阪(伊丹) 45分 (毎日往復9便) 高知～福岡 55分 (毎日往復3便)
海路	<国際貨物航路> 高松～大連・青島(週1便) 高松～上海(週1便) 高松～釜山(週3便) <国内航路> 高松～神戸 約4時間 高松～宇野 約1時間	<国際貨物航路> 小松島港～釜山港 週3便 <国内航路> 徳島～和歌山 約2時間	<国際貨物航路> 今治～松山～釜山 週2便 三島川之江～今治 ～松山～釜山 週3便 三島川之江～釜山 週2便 松山～台湾～マニラ 週1便 松山～台湾～香港 週1便 松山～台湾 週1便 松山～上海 週2便	<国際貨物航路> 高知新港～釜山港 週2便 <国内航路> 宿毛～佐伯 3時間00分

※各県企業立地ホームページ、パンフレットより。「 」については、ルート検索で検索した数字を記載。

③道路密度

- 1 k m²当たりの道路実延長（道路密度）は1, 0 3 2 mで、大阪府、東京都、愛知県に次いで全国順位は4位である。

道路密度について
(調査時点：平成22年4月1日)

順位	都道府県	1 k m ² 当たり 道路実延長 (m)
1	大阪府	1, 2 8 2
2	東京都	1, 2 1 6
3	愛知県	1, 0 7 1
4	香川県	1, 0 3 2
5	福岡県	9 3 4
1 2	愛媛県	6 9 9
2 4	徳島県	6 0 1
3 8	高知県	4 4 4
	四国平均	6 1 4
	全国平均	4 9 4

「道路統計年報（国土交通省道路局）」

④道路舗装率

- 道路舗装率は99. 9%で、千葉県、宮崎県、鹿児島県と共に全国順位は2位である。

道路舗装率について
(調査時点：平成22年4月1日)

順位	都道府県	道路舗装率 (%)
1	佐賀県	1 0 0. 0
2	香川県	9 9. 9
2	千葉県	9 9. 9
2	宮崎県	9 9. 9
2	鹿児島県	9 9. 9
1 4	高知県	9 8. 9
2 7	徳島県	9 7. 7
4 1	愛媛県	9 5. 7
	四国平均	9 7. 7
	全国平均	9 7. 4

「道路統計年報（国土交通省道路局）」

⑤港湾の利用状況

○ 離島も含めた多くの航路を有し、また、国際航路をもつ本県は、四国の他地域に比べて高い実績値になっている。

平成22年港湾統計〔入港船舶数・輸送実績〕(H22.1～H22.12)

種 別		高松市 (高松港)	坂出市 (坂出港)	徳島市(徳島 小松島港)	松山市 (松山港)	高知市 (高知港)	広島市 (広島港)	岡山市 (水島港)
入港船舶	隻 数	49,917	15,145	5,249	26,594	5,703	49,917	40,000
	総トン数	34,609,815	23,392,354	17,394,688	21,284,575	5,421,190	35,213,236	87,689,815
船舶乗降人員(人)	乗込人員	1,279,652	739	149,193	622,959	0	985,649	1,476
	上陸人員	1,286,621	1,285	138,271	614,787	0	1,017,685	0
海上出入貨物(t)	輸移出	14,938,509	9,460,362	3,507,102	5,135,413	3,572,025	6,984,962	31,712,340
	輸移入	15,368,517	15,725,764	4,015,286	6,643,981	2,063,603	5,208,638	57,371,145
外貨コンテナター ミナル取扱本数	輸 出	16,532	0	6,824	14,095	4,752	86,743	54,335
	輸 入	16,679	0	7,662	12,210	4,580	85,964	56,571

※県内の重要港湾（高松港及び坂出港）と、その他近県の主要な港湾との比較である。

「香川県港湾課」

⑥ブロードバンドの普及状況

○ ブロードバンド契約世帯比率は54.1%で、全国順位は29位である。

ブロードバンド契約世帯数について

(調査時点：平成23年3月31日)

順位	都道府県	ブロードバンド 契約世帯比率 (%)
1	東京都	87.0
2	大阪府	81.0
3	神奈川県	76.3
4	滋賀県	69.1
5	埼玉県	69.0
29	香川県	54.1
31	徳島県	53.3
38	愛媛県	47.3
46	高知県	39.4
	四国平均	48.4
	全国平均	64.9

「総務省総合通信基盤局調」「住民基本台帳人口要覧（総務省自治行政局）」

※ブロードバンド契約数は、FTTH アクセスサービス、ADSL アクセスサービス、DSL アクセスサービス、CATV アクセスサービス、FWA アクセスサービス及びBWA アクセスサービスの契約数の合計。

○ 超高速ブロードバンド利用可能世帯率は84.5%で、全国順位は41位である。

超高速ブロードバンド基盤の整備状況

(調査時点：平成23年9月30日現在)

順位	都道府県	超高速ブロードバンド 利用可能世帯率 (%)
1	東京都	100.0
1	神奈川県	100.0
1	三重県	100.0
1	大阪府	100.0
5	愛知県	99.9
5	滋賀県	99.9
11	徳島県	98.7
30	愛媛県	91.2
41	香川県	84.5
46	高知県	77.5
	四国平均	88.2
	全国平均	95.1

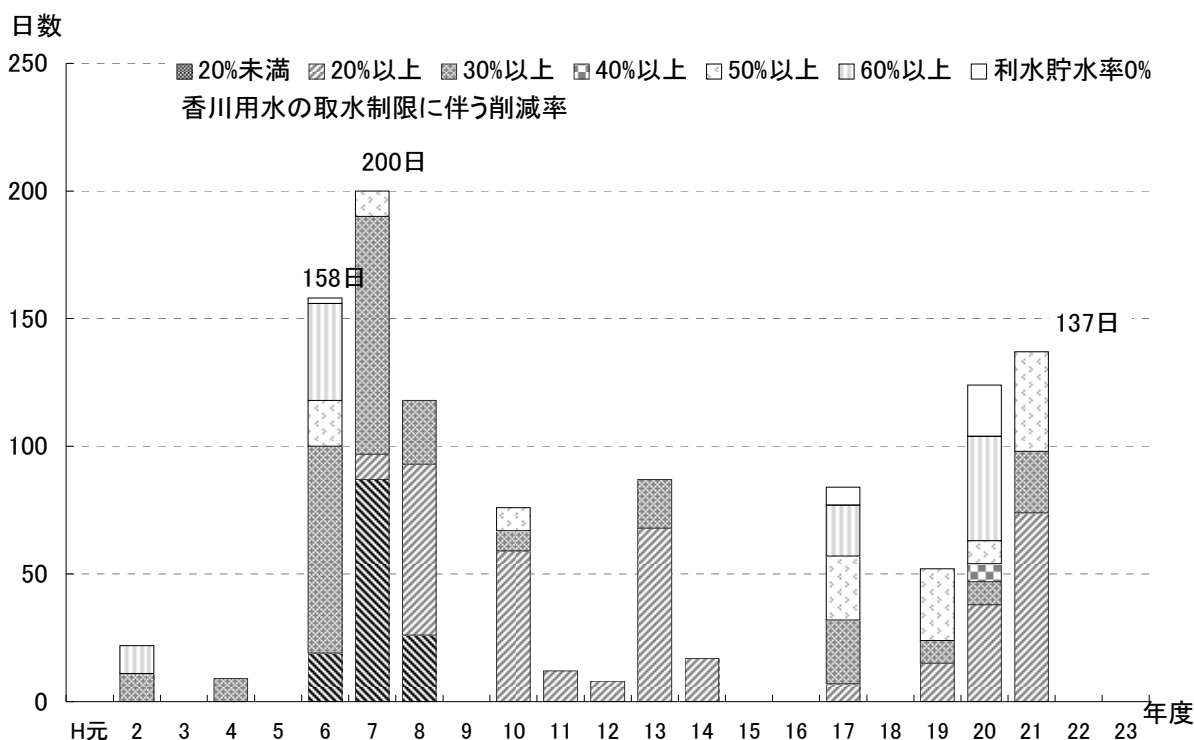
「総務省総合通信基盤局ホームページ掲載資料より抜粋」

※超高速ブロードバンドとは、FTTH、下り伝送速度30Mbps以上のケーブルインターネット。

⑦香川用水の取水制限状況

○ 香川用水調整池（宝山湖）の平成 21 年 4 月の運用開始などにより、県民生活や産業活動に大きな影響が生じないように、渇水・緊急時の水の確保に向けた対策が講じられている。

香川用水の取水制限状況（香川県）



「香川県水資源対策課」

県内市町の渇水の影響（上水道、工業用水道の給水制限状況）

年度	減圧給水	夜間断水・時間給水
平成6年度	7市7町	7市4町 Ave. 50日間 工業用水道（1市1町の受水企業30社）69日間
平成6年度～7年度	—	2町 Ave. 147日間
平成7年度～8年度	4市1町	2町 Ave. 213日間 工業用水道（1市1町の受水企業30社）38日間
平成10年度	3市2町	—
平成17年度	6市3町	1町【夜間断水2日間】
平成19年度	6市3町	—
平成20年度	7市3町	—
平成21年度	6市4町	—
平成22年度	—	—
平成23年度	—	—

「香川の水資源（香川県水資源対策課）」

香川県の水道用水供給事業の概要図



凡 例	
	香川用水幹線水路 (共用区間)
	香川用水幹線水路 (農業専用区間)
	浄水場
	県の導水管
	県の送水管
	県・市町共同送水管
	ポンプ場
	調整池、調整井
	給水先の市町
	市町の受水点
	市町の受水点 (新規受水)
	拡張送水管路
	拡張予定送水管路

香川県の工業用水道事業の概要図



凡 例	
給水区域	
浄水場	
導水管	
配水管	
流調弁制御所	

<自然災害>

①自然災害被害額

- 平成18年から22年の5年間における年平均の自然災害被害総額は2億3千6百万円で、全国順位は少ないほうから3位である。

過去5年間（平成18年～22年）の年平均被害総額について

順位	都道府県	年平均被害総額（百万円）
1	東京都	82
2	大阪府	91
3	香川県	236
4	福井県	340
5	滋賀県	663
12	愛媛県	1,620
14	徳島県	1,852
22	高知県	4,671
	四国平均	2,095
	全国平均	6,991

「消防白書（総務省消防庁）」

②地震の発生回数

- ライフラインやインフラ等への影響が出始める揺れとされる「震度5弱」以上の地震が発生した回数をみると、香川県では徳島県や高知県などと同様に過去30年間のうち、1回しか発生していない。

地震の発生回数（震度5弱以上・過去30年間）

順位 (グループ)	都道府県	回数 (回)
1	福井県、岐阜県、大阪府	0
2	富山県、滋賀県、京都府、岡山県、山口県、徳島県、香川県、高知県	1
3	愛知県、兵庫県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県	2
4	三重県、奈良県、鳥取県、島根県、熊本県、宮崎県	3
5	和歌山県	4
	四国平均	1.3
	全国平均	8.3

「1982～2011年度 震度データベース（気象庁）」

本県における成長の芽(蓄積技術等と取組み)



ナノピンセットによるコピー
トナー粒子(直径1μm以下)
の並び替え(AOI)。ピン
セットの長さは20μm(髪の毛
の太さの1/5程度)。



導電性を持たせたファイン
セラミックスで作った、
電子部品を吸着・搬送する
ノズル

ナノデバイス(ナノテクノロジー)
ファインセラミックス技術
特殊分析ソリューション
炭素繊維複合材料・焼結体関連技術
センシング技術
メカトロニクス
機能性表面処理技術
防振防音技術
超精密・微細加工技術

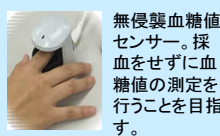


発電所向け省エネ・
高信頼・高出力LED
電球。



食品残渣を利用するバイ
オエタノール発酵
蒸留設備。

2次電池関連技術
省エネルギー生産技術
リサイクル技術
バイオマス技術
省エネルギー製品開発技術
EV研究



無侵襲血糖値
センサー。採血をせずに血
糖値の測定を行うことを目指
す。



高機能大腿
義足の開発
(階段を昇れる
大腿義足
など)

医療機器関連技術
福祉・介護機器・器具関連技術
医療ICT、K-MIX関連
機能糖鎖関連技術



希少糖を用いたカステラ。
スイーツを中心に多くの新
商品を生み出している。



県産小麦「さ
ぬきの夢」の
小麦粉。ポリ
フェノールが
高濃度に含
まれている。

希少糖関連技術
地域食品開発・加工技術(発酵技術、
冷凍技術等)
健康食品開発・加工技術
食品、農水産物の機能性等評価技術
医農商工連携



県農業試験
場で育成さ
れる県オリ
ジナルの野
菜・果樹など。



オリーブオイルや様々な
新商品が開
発・販売さ
れている。

特色ある農産物(県オリジナル・オリーブ
など)の生産拡大
農業の6次産業化



アートツ
リズムなど
の推進



国際観光の推進

集積、充実するアート資源
まち歩きなど新たな観光資源
新規国際定期航空路線の開設

活かせる領域

先端技術や基盤技術を活
用したものづくり

エネルギー・環境

健康関連

地域資源や伝統技術を活
用した特長ある食品

高品質な農産物づくり

観光関連